



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 東芝テック株式会社
 コード番号 6588 URL https://www.toshibatec.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 錦織 弘信
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 広報室長 (氏名) 水野 隆司 TEL 03-6830-9151
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	191,735	△23.3	△930	—	△1,388	—	△6,968	—
2020年3月期第2四半期	249,907	5.9	10,174	41.6	9,675	64.1	7,889	83.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △8,770百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 4,120百万円(△17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第2四半期	円 銭 △126.71	円 銭 —
2020年3月期第2四半期	143.51	143.33

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第2四半期	百万円 257,874	百万円 86,969	% 30.8
2020年3月期	288,473	96,384	30.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 79,540百万円 2020年3月期 87,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 30.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 2021年3月期の期末配当予想については「未定」としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△17.3	10,000	△28.5	7,000	△39.4	500	△86.6	9.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) ー 、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	57,629,140株	2020年3月期	57,629,140株
2021年3月期2Q	2,617,050株	2020年3月期	2,642,915株
2021年3月期2Q	54,998,810株	2020年3月期2Q	54,972,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
(1) 決算概要の推移	11
(2) 報告セグメント情報の推移	12
(3) 仕向地別売上高の推移	13
(4) 海外生産高比率の推移	13
(5) 資源投入の推移	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による急速な景気悪化には歯止めがかかったものの、本格的な景気回復には至らず、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下で、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための様々な対策を講じつつ、徹底した固定費削減や構造改革等に取り組み、「店舗・オフィスを起点に顧客現場の課題を解決するソリューションパートナー」を目指して、「ソリューション事業拡大」、「コアビジネス業容拡大」及び「原価低減加速、生産性向上による安定収益体制の構築」に鋭意努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内及び海外市場において主力商品であるPOSシステム及び複合機の需要が落ち込むとともに、営業活動も制限されたことなどから、売上高は1,917億35百万円（前年同期比23%減）となりました。また、損益については、売上高が減少した影響などから、営業損失9億30百万円（前年同期は101億74百万円の営業利益）、経常損失13億88百万円（前年同期は96億75百万円の経常利益）となり、構造改革に伴う特別損失を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失69億68百万円（前年同期は78億89百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、中間配当については、上記の業績や経営環境などを総合的に勘案した結果、2020年5月26日の2020年3月期決算発表時の配当予想のとおり、無配とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、何卒ご了承賜りたいと存じます。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの状況は、次のとおりであります。

(リテールソリューション事業)

国内及び海外市場向けPOSシステム、国内市場向け複合機、国内市場向けオートIDシステム、並びにそれらの関連商品などを取り扱っているリテールソリューション事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や、競合他社との競争激化が続く厳しい事業環境の中で、マーケットニーズにマッチした新商品の開発、主力・注力商品の拡販、エリア・マーケティングの推進、コスト競争力強化による収益体質向上などに鋭意注力いたしました。

国内市場向けPOSシステムは、飲食業などの業績悪化に伴う投資意欲の低下や、新規出店計画の見直しなどにより、POSシステム全体の販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

海外市場向けPOSシステムは、北米で販売が堅調に推移したものの、欧州、アジアなどで販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

国内市場向け複合機は、販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

国内市場向けオートIDシステムは、バーコードプリンタ及びサプライ商品の販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

この結果、リテールソリューション事業の売上高は、1,294億20百万円（前年同期比19%減）となりました。また、同事業の営業利益は、売上高が減少した影響などから、55億35百万円（前年同期比34%減）となりました。

(プリンティングソリューション事業)

海外市場向け複合機、海外市場向けオートIDシステム、国内及び海外市場向けインクジェットヘッド、並びにそれらの関連商品などを取り扱っているプリンティングソリューション事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や、競合他社との価格競争激化が続く厳しい事業環境の中で、構造改革を中心とした固定費削減を推進するとともに、コスト競争力の強化、生産性向上、LMR領域（物流・製造・店舗）向けソリューションの強化、DMS（Document Management Solution）及びMIS（Managed IT Service）といったオフィス向け統合管理ソリューションの推進などに鋭意注力いたしました。

海外市場向け複合機は、米州、欧州、アジアなどの各地域で販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

海外市場向けオートIDシステムは、米州、欧州、アジアなどの各地域で販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

インクジェットヘッドは、国内及び海外顧客向けの販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

この結果、プリンティングソリューション事業の売上高は、654億62百万円（前年同期比30%減）となりました。また、同事業の損益は、売上高が大幅に減少した影響などから、営業損失64億66百万円（前年同期は17億81百万円の営業利益）となりました。

（注）オートIDシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ305億99百万円減少し、2,578億74百万円となりました。これは、流動資産の「現金及び預金」が94億92百万円、「グループ預け金」が79億9百万円、「その他」が59億18百万円、「商品及び製品」が19億60百万円、「原材料及び貯蔵品」が14億25百万円、「受取手形及び売掛金」が12億32百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度に比べ211億84百万円減少し、1,709億4百万円となりました。これは、流動負債の「支払手形及び買掛金」が110億52百万円、「その他」が37億33百万円、固定負債の「退職給付に係る負債」が44億47百万円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度に比べ94億15百万円減少し、869億69百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」が親会社株主に帰属する四半期純損失により69億68百万円減少したこと、配当金の支払いにより5億49百万円減少したこと、「非支配株主持分」が15億9百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動については、税金等調整前四半期純損失が77億35百万円であり、減価償却費が79億32百万円、たな卸資産の減少額が42億63百万円となりましたが、仕入債務の減少額が107億47百万円、退職給付に係る負債の減少額が41億71百万円となったことなどから、103億47百万円の支出（前年同期は147億40百万円の収入）となりました。

投資活動については、有形固定資産並びに無形固定資産の取得による支出などにより、52億24百万円の支出（前年同期は70億9百万円の支出）となりました。

これによりフリー・キャッシュ・フローは155億72百万円の支出（前年同期は77億30百万円の収入）となりました。

財務活動については、ファイナンス・リース債務の返済や配当金の支払いなどにより、21億41百万円の支出（前年同期は37億37百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の当社グループの資金（四半期連結キャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物」）残高は、前連結会計年度と比べ174億1百万円減少し359億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年5月26日に発表した2021年3月期の連結業績予想を次のとおり修正いたしました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	410,000	10,000	7,000	500	9.09
今回発表予想(B)	400,000	10,000	7,000	500	9.09
増減額(B-A)	△10,000	—	—	—	—
増減率(%)	△2.4	—	—	—	—
ご参考 前期実績(2020年3月期)	483,799	13,977	11,559	3,730	67.84

これは、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえるとともに、主に米州及び欧州において新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中で、2020年10月以降のプリンティングソリューション事業の業績回復が当初の想定より若干遅れるリスクを考慮したことなどから、前回発表予想に比べて売上高が減少する見込みとなったためです。なお、損益面については、更なる固定費削減に取り組むことなどにより、前回発表予想を据え置くことにいたしました。

※業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,907	35,415
グループ預け金	8,394	485
受取手形及び売掛金	59,701	58,469
商品及び製品	33,502	31,542
仕掛品	4,974	3,957
原材料及び貯蔵品	8,026	6,601
その他	30,435	24,517
貸倒引当金	△1,393	△1,477
流動資産合計	188,549	159,510
固定資産		
有形固定資産	46,046	45,505
無形固定資産		
のれん	2,377	1,968
その他	9,999	9,906
無形固定資産合計	12,376	11,874
投資その他の資産		
その他	41,520	41,075
貸倒引当金	△19	△91
投資その他の資産合計	41,501	40,983
固定資産合計	99,924	98,363
資産合計	288,473	257,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,775	43,723
短期借入金	346	422
未払法人税等	3,845	1,399
その他	71,503	67,770
流動負債合計	130,471	113,316
固定負債		
長期借入金	804	870
退職給付に係る負債	35,861	31,414
その他	24,951	25,303
固定負債合計	61,617	57,588
負債合計	192,088	170,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,970	39,970
資本剰余金	24	55
利益剰余金	46,040	38,521
自己株式	△5,422	△5,371
株主資本合計	80,612	73,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,208	1,537
繰延ヘッジ損益	△4	△3
為替換算調整勘定	7,795	6,894
最小年金負債調整額	△521	△538
退職給付に係る調整累計額	△1,691	△1,526
その他の包括利益累計額合計	6,786	6,363
新株予約権	110	64
非支配株主持分	8,873	7,364
純資産合計	96,384	86,969
負債純資産合計	288,473	257,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	249,907	191,735
売上原価	147,446	116,731
売上総利益	102,461	75,003
販売費及び一般管理費	92,287	75,933
営業利益又は営業損失(△)	10,174	△930
営業外収益		
受取利息	144	150
受取配当金	54	22
デリバティブ評価益	2	—
為替差益	—	387
その他	217	220
営業外収益合計	419	780
営業外費用		
支払利息	209	263
デリバティブ評価損	—	164
為替差損	13	—
海外源泉税	—	208
その他	695	601
営業外費用合計	918	1,238
経常利益又は経常損失(△)	9,675	△1,388
特別利益		
投資有価証券売却益	3	—
環境対策費戻入益	—	284
特別利益合計	3	284
特別損失		
固定資産減損損失	85	—
事業構造改革費用	291	6,630
特別損失合計	376	6,630
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	9,301	△7,735
法人税等	1,661	470
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,640	△8,205
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△249	△1,236
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	7,889	△6,968

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,640	△8,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257	329
繰延ヘッジ損益	△33	0
為替換算調整勘定	△3,132	△1,042
最小年金負債調整額	20	△16
退職給付に係る調整額	△116	164
その他の包括利益合計	△3,520	△564
四半期包括利益	4,120	△8,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,704	△7,391
非支配株主に係る四半期包括利益	△584	△1,378

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	9,301	△7,735
減価償却費	8,134	7,932
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	—
環境対策費戻入益	—	△284
固定資産減損損失	85	—
事業構造改革費用	291	6,630
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△88	154
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△750	△4,171
受取利息及び受取配当金	△199	△172
支払利息	209	263
売上債権の増減額(△は増加)	△3,573	1,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,054	4,263
仕入債務の増減額(△は減少)	4,732	△10,747
その他	1,315	1,239
小計	16,400	△1,362
利息及び配当金の受取額	172	197
利息の支払額	△199	△260
割増退職金等の支払額	—	△6,154
法人税等の支払額	△2,042	△2,787
法人税等の還付額	408	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,740	△10,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,102	△4,097
有形固定資産の売却による収入	92	66
無形固定資産の取得による支出	△1,468	△1,006
投資有価証券の取得による支出	△517	△36
投資有価証券の売却による収入	3	11
短期貸付金の純増減額(△は増加)	0	32
長期貸付けによる支出	△0	△3
長期貸付金の回収による収入	4	2
事業譲受による支出	—	△124
その他	△20	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,009	△5,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	109	△89
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,346	△1,571
長期借入れによる収入	470	207
長期借入金の返済による支出	△38	—
自己株式の取得による支出	△2	△6
配当金の支払額	△1,646	△550
非支配株主への配当金の支払額	△284	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,737	△2,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,418	311
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,574	△17,401
現金及び現金同等物の期首残高	55,498	53,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,072	35,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 2020年3月31日)第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第29号 2018年2月16日)第15項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大が続き、社会・経済に多大な影響が生じており、当該影響が長引けば当社グループの当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼす可能性があります。

当社グループは、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、主に米州及び欧州において新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中で、業績回復が当初の想定より若干遅れるリスクを考慮しながらも、当初の予定どおり、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業活動へのリスクを過去の経済危機のデータなどを参考とし、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の後半から各国の経済対策の効果などにより世界経済は徐々に景気回復していくという前提において、現時点見積ることが可能な範囲で繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失の判定に用いるなど、一定の仮定のもとに現時点での会計上の見積りを会計処理に反映しており、前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (追加情報) (新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)」に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、これらの見積りに用いた仮定に基づく数値は実際の結果と異なる可能性があります。

(「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」について)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	リテール ソリューション	プリンティング ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	159,765	90,142	249,907	—	249,907
セグメント間の 内部売上高又は振替高	110	3,882	3,993	△3,993	—
計	159,875	94,025	253,901	△3,993	249,907
セグメント利益	8,392	1,781	10,174	—	10,174

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	リテール ソリューション	プリンティング ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	129,382	62,353	191,735	—	191,735
セグメント間の 内部売上高又は振替高	37	3,109	3,147	△3,147	—
計	129,420	65,462	194,882	△3,147	191,735
セグメント利益又は損失(△)	5,535	△6,466	△930	—	△930

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

3. 補足情報

(1) 決算概要の推移

[連結]

(単位：百万円)

摘 要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予想
売上高	236,071	249,907	191,735	476,824	483,799	400,000
前同期比/前期比	97%	106%	77%	93%	102%	83%
営業利益又は 営業損失(△)	7,184	10,174	△930	17,989	13,977	10,000
前同期比/前期比	69%	142%	—	73%	78%	72%
経常利益又は 経常損失(△)	5,897	9,675	△1,388	16,471	11,559	7,000
前同期比/前期比	62%	164%	—	72%	70%	61%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	4,307	7,889	△6,968	11,211	3,730	500
前同期比/前期比	84%	183%	—	64%	33%	13%
1株当たり四半期 (当期)純利益又は 1株当たり四半期 純損失(△) (円)	78.38	143.51	△126.71	204.00	67.84	9.09
連結子会社数 (社)	80	79	77	81	78	未定

平均レート(US\$) (円)	109.50	109.19	106.81	110.69	109.13	105.98
平均レート(EUR) (円)	129.52	122.01	120.89	128.78	121.27	120.80

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2019年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

(2) 報告セグメント情報の推移

[連結売上高]

(単位：百万円)

摘 要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予想
リテールソリューション 事業	145,510	159,875	129,420	292,303	311,461	265,000
前同期比/前期比	97%	110%	81%	90%	107%	85%
プリンティング ソリューション事業	94,756	94,025	65,462	192,949	179,855	143,000
前同期比/前期比	96%	99%	70%	96%	93%	80%
小計	240,267	253,901	194,882	485,252	491,316	408,000
消去	△4,195	△3,993	△3,147	△8,428	△7,517	△8,000
合計	236,071	249,907	191,735	476,824	483,799	400,000
前同期比/前期比	97%	106%	77%	93%	102%	83%

(注) 各事業の売上高は「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含めて表示しております。

[連結営業利益又は営業損失(△)]

(単位：百万円)

摘 要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予想
リテールソリューション 事業	5,228	8,392	5,535	12,323	14,344	13,000
営業利益率	3.6%	5.2%	4.3%	4.2%	4.6%	4.9%
プリンティング ソリューション事業	1,955	1,781	△6,466	5,666	△366	△3,000
営業利益率	2.1%	1.9%	△9.9%	2.9%	△0.2%	△2.1%
合計	7,184	10,174	△930	17,989	13,977	10,000
営業利益率	3.0%	4.1%	△0.5%	3.8%	2.9%	2.5%

(3) 仕向地別売上高の推移

[仕向地別売上高/連結]

(単位:百万円)

摘要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期
日本	93,219	108,705	81,682	187,151	212,463
連結売上高に占める割合	39%	43%	43%	39%	44%
米州	69,928	74,609	58,038	143,361	143,753
連結売上高に占める割合	30%	30%	30%	30%	30%
欧州	46,899	43,796	34,336	96,329	85,898
連結売上高に占める割合	20%	18%	18%	20%	18%
その他	26,023	22,796	17,677	49,982	41,685
連結売上高に占める割合	11%	9%	9%	11%	8%
合計	236,071	249,907	191,735	476,824	483,799
連結売上高に占める割合	100%	100%	100%	100%	100%

(4) 海外生産高比率の推移

[海外生産高比率/連結]

摘要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期
海外比率	75%	74%	74%	75%	72%

(5) 資源投入の推移

[有形固定資産及び無形固定資産の増加額/連結]

(単位:百万円)

摘要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予想
連結	6,677	7,976	7,651	14,137	22,352	14,000
前同期比/前期比	90%	119%	96%	100%	158%	63%

(注) 2020年3月期の期首より、在外連結子会社でIFRS第16号「リース」及びASU 2016-02「リース」を適用しております。

[研究開発費/連結]

(単位:百万円)

摘要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予想
連結	14,647	13,501	11,502	27,761	26,866	23,000
売上高比	6.2%	5.4%	6.0%	5.8%	5.6%	5.8%
前同期比/前期比	105%	92%	85%	99%	97%	86%

[期末在籍人員/連結]

摘要	2019年3月期 第2四半期 (累計)	2020年3月期 第2四半期 (累計)	2021年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予想
連結 (人)	19,870	20,017	19,272	19,980	20,014	18,500
前同期比/前期比 (人)	△357	147	△745	200	34	△1,514